

事務事業名	上村観光施設維持管理事業			会計	一般会計		事業種別	経常	開始	18	終了	28	
H27担当課等名	観光課		H27係等名	遠山郷観光振興係		H26係等名	遠山郷観光振興係						
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり										
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり										
目的	対象(誰・何を)	上村の地域振興施設						対象指標	指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	指定管理先と連携し、営業販売力を向上させる							指定管理施設数		9		
	向上させたい上位施策の成果指標	既存事業者の消費額(観光) 飯田下伊那 H22 102億円 → H28 129億円							販売額(万円)		11397		
目標	種別	指標名及び単位						26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	指定管理施設数						9	9	9	9		
	成果指標	販売額総額(万円)						13500	11397	13500	13500		
	定性目標												
事業概要	<p>上村地区の地域振興施設は、合併前の上村時代に設置された施設である。営業力を高めるため、平成23年度より、それまで個別指定管理されてきた6つの施設に加え、直営により管理していた3施設を含めた9施設を包括指定管理化した。包括指定管理先が経営軌道に乗るまでの必要な支援を行なう。各施設の活性化が上村及び遠山郷全体の観光振興につながる為、必要な施設の整備について順次実施していく。観光客が来訪するにあたって地理的制約のある下栗地区への観光客増加に伴う受入れ体制の整備を行い、地元住民の生活環境を守ると共に観光客が安心安全に下栗を観光できる仕組みを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上村地区観光振興施設の維持管理(ハイランドしらびそ、喫茶かみ、農産物直売施設、農産物加工所、はんば亭、村の茶屋、高原ロッジ下栗、大平研修センター、大島河原キャンプ場) ・下栗地区への観光客及び観光車輛増加対策の実施(観光案内所の設置、観光来訪車輛の安全管理) 												
26年度事業内容	事業内容						名称			活動指標			
	1 観光施設の管理 (1)観光施設管理委託料 (2)光熱水費、修繕、電話料、保険料、土地賃借料等直接支払経費 2 観光施設改修 (1)大平高原観光施設機能強化工事(トイレ、客室) 14,400千円 (2)下栗公衆トイレ増築工事 12,074千円 3 下栗の里観光客受入体制整備 (1)増加する観光車輛観光客対策 3,333千円 4 上村地区観光施設ホームページの内容強化						1 管理している施設数 2 大規模修繕数 3 下栗の里観光客受入数(観光期) (1)案内所利用者数(4月下～11月) (2)下栗の里観光客数(4月下～11月) (3)下栗駐車場利用台数(4月下～11月) 4 ホームページブログ閲覧数(4月～3月)			1 9施設 2 2施設 3(1)5,094人 (2)67,046人 (3)14,460台 4 98,171回			
	事業コスト						25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足		
	事業費計(千円)①						44,325	50,692	50,646	54,785	【平成26年度特定財源】 (県)市町村合併特例交付金31,718千円 (そ)全国市有物件災害共済補償金1,477千円		
国庫支出金										【平成27年度特定財源】 (県)市町村合併特例交付金36,000千円 (過)過疎対策事業債600千円			
県支出金						29,766	31,718	31,718	36,000				
起債									600				
その他						87	1,224	1,477					
一般財源						14,472	17,750	17,451	18,185				
人件費計(千円)②						2,682		7,152					
正規職員所要時間						750		2,000					
臨時職員所要時間													
総事業費①+②						47,007	50,692	57,798	54,785				
事業内容・目標達成状況の振り返り	包括指定管理も3年目を終了し、施設間の連携も進んできた。大幅な観光客の増加に対応する施設とする為、下栗の里の観光施設の整備強化対策や、緊急雇用創出補助事業を活用して観光客受入れの円滑化対策を実施した。増税、天候不順等が営業収支に及ぼす影響は大きい。												
改革改善の考え方	①問題点	施設の経年劣化が進み、維持管理にかかる直接経費が増加している。観光客増加に対応する地元の受け入れ体制が徐々に整いはじめてきたが、まだまだ観光によるメリットを享受できていない。											
	②改革提案	観光客増加に対応する体制整備は、各種補助金を活用して実施する。施設の収益向上、維持管理については、H24にまとめた将来的な施設のあり方に基づき、指定管理先と連携し、改善を図っていく。また、南アルプスのユネスコエコパーク・ジオパークを観光分野で地域資源として有効活用する。											